

School Curriculum Development for Food and Nutrition Education in China (3):  
Analysis of Food and Nutrition Education Contents of “Moral and Living”  
and “Moral and Society” for Elementary School in China

LIU Zhiping, SHIBA Eri and KIKUCHI Rumiko

中国の学校教育における食育カリキュラム開発（3）  
－中国の小学校「品德と生活」「品德と社会」における  
食育内容の分析－

劉 智萍・柴 英里・菊地るみ子

論文

## 中国の学校教育における食育カリキュラム開発(3)

—中国の小学校「品德与生活」「品德与社会」における食育内容の分析—

School Curriculum Development for Food and Nutrition Education in China (3): Analysis of Food and Nutrition Education Contents of “Moral and Living” and “Moral and Society” for Elementary School in China

劉 智萍 (天津師範大学教育科学学院)<sup>1</sup>

柴 英里・菊地 るみ子 (高知大学教育学部)<sup>2</sup>

LIU Zhiping<sup>1</sup>, SHIBA Eri<sup>2</sup> and KIKUCHI Rumiko<sup>2</sup>

<sup>1</sup> Faculty of Education and Science, Tianjin Normal University

<sup>2</sup> Faculty of Education, Kochi University

### ABSTRACT

The purpose of this study is to analyze “Moral and Living (品德与生活)” and “Moral and Society (品德与社会)” from the perspective of Food and Nutrition Education. Chinese elementary students in first and second grade have two classes of “Moral and Living” per week. The upper grade students, that are third through sixth grader, have two classes of “Moral and Society” per week. The length of each class is commonly 40 minutes in Chinese elementary school. The textbook of “Moral and Living” for first grader shows the importance of well-balanced food intake, healthy teeth and eyes, and sanitary especially in summer. The textbook of “Moral and Living” for second grader shows seasonable foods such as a persimmon and a crab, which are autumn foods. Also there is an illustration of Chinese family enjoying mooncakes at mid-autumn harvest festival. The textbook of “Moral and Society” for third grader intend to promote cooking, better behavior, acknowledgment to someone who prepare meals at home. The textbook of “Moral and Society” for fourth grader shows recommendations for smart shopping, such as purchasing an adequate amount of foods and checking food labels. The textbook of “Moral and Society” for fifth grader shows food culture of the Hui people and Western countries comparing with Chinese food culture. Sashimi is introduced as Japanese food culture in “Moral and Society” textbook for sixth grader. Both “Moral and Living” and “Moral and Society” textbooks contain quite a few descriptions related to Food and Nutrition Education. While textbooks of Home Economics in Japan deal with a wide range of contents such as the name of cooking utensils, cooking protocols, how to cook, cooking theories, and how to plan a meal, these textbooks in China do not. In conclusion, the contents of “Moral and Living” and “Moral and Society” textbooks are confined to understanding of the basic knowledge related on Food and Nutrition Education.

## I. はじめに

これまで私たちは、中国の学校教育における食育カリキュラム開発に取り組んできた。まず、中国の子どもをめぐる食生活の現状と課題を取り上げて、朝食欠食や朝食の栄養バランスの問題、脂肪エネルギー摂取比率の増加など取り組むべき課題を見出した<sup>1)</sup>。つぎに、中国の幼稚園用『健康習慣』における食育内容の分析に取り組んだ<sup>2)</sup>。その結果、中国の幼稚園で食生活に関わる基礎的な知識を学ばせようとする事例が見出せること、しかし食事場面の持つコミュニケーションの役割を意識した内容が乏しい実態を明らかにした。それらの成果をふまえ、本稿の目的は、中国の小学校教育における「品德と生活」「品德と社会」の教科書を取り上げて、食育内容の分析を行うことである。

## II. 中国の小学校教育

現在の中国における小学校での教科、授業時数をまとめたのが、表1である<sup>3)</sup>。小学校の授業は、40分授業が標準である。

表1 中国の小学校における各教科等と授業時間

		学 年					
		一	二	三	四	五	六
教科目	品德と生活	2	2	/	/	/	/
	品德と社会	/	/	2	2	2	2
	国語	9	9	7	7	6	6
	数学	5	5	4	4	4	5
	外国語	/	/	3	3	3	3
	体育	4	4	3	3	3	3
	音楽	2	2	2	2	2	2
	美術	2	2	2	2	2	1
	科学	/	/	2	2	3	3
	情報技術	/	/	1	1	1	1
	総合実践活動(生活と労働)	/	/	4	4	4	4
	地方課程と学校課程	2	2				
週当たりの授業時間数		26	26	30	30	30	30
年間の授業時間数		910	910	1050	1050	1050	1050

中国には家庭科という教科はない。荒井・菊地は「世界の家庭科」で、米国・イギリス・スウェーデン・フィンランド・カナダ・ドイツ・韓国・中国を取り上げて「家庭科及び家庭や生活に関わる教育の諸外国の例」を紹介したが、これら8カ国中で「家庭科及び家庭や生活に関わる教育」がないのは中国だけであった<sup>4)</sup>。しかし中国については、「家庭科という教科はないが」、「科学」で栄養、「品德と生活」「品德と社会」、地方及び学校開発課程などで生活教育

を扱う」と解説した<sup>5)</sup>。それは、「科学」「品德と生活」「品德と社会」の教科書に、家庭科的と判断してもよい内容が含まれている現実をふまえたからである。そこで今回は、1～2学年の「品德と生活」と、3～6学年の「品德と社会」とを取り上げて、食育として捉えられる内容を見いだした。

山田は、「中国における道德教育と社会科との合科」について中国における先行研究を用いて分析し、「品德と生活」「品德と社会」の合科の目標は「児童・生徒の生活から出発し、道德的価値を身につけるというもので、社会生活の中で必要な実践力を身につける」(下線部は、筆者)社会科、道德の実践力を身につける道德教育が融合されている<sup>6)</sup>と指摘している。また賽は、社会科教育の立場から「中国初等教科「品德と社会に見る公民性教育(1)」として5年生の「私たちの民主生活」を分析し、「教科の基本理念は「生活性」、「開放性」、「活動性」の3つであった<sup>7)</sup>としている。教育内容は「健康、安全な生活」「愉快で積極的な生活」「生活の中の責任と愛」「智恵と創意工夫のある生活」が重視されていること、「愉快で積極的な生活」は「これまでにない新しい領域であり注目された<sup>8)</sup>」としている。そして「品德と社会」の特徴と意義として「第一に、身近な生活をよりよく生きるための智恵を学ぶ教科である」<sup>9)</sup>と述べている。

日本の小学校における家庭科は「衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、家庭生活を大切にすることを旨とし、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる」<sup>10)</sup>ことを目標とする教科である。そして、5～6学年で学習する。先述した「品德と社会」が「生活をよりよく生きるための智恵」という部分と似た教科であると考えられる。ただし、日本の場合は「日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける」ことも、目標にしていることは明記しておかなければならない。したがって、中国では「家庭科」という教科は未だないが、家庭科的教育の必要性が認識されつつあるのではないかと考えられる。本研究では、「品德と生活」「品德と社会」の教科書、教師用書(教科書に準じ教師用参考書)のなかで、食育に関わる内容がどれだけ、どのように扱われているのかを分析する。

## III. 「品德と生活」について

「品德と生活」、「品德と社会」の教科について、それぞれの教科の特徴と食育に関わる内容を取りあげる<sup>11)</sup>。

### (1) 「品德と生活」の教科の特徴

「品德と生活」は、1学年と2学年で週2時間ずつある。児童の生活を基礎として、品性良好を育成し、探究することが楽しく、生活を熱愛する児童を目指して、いろいろな児童の活動を取り入れた総合的な教科である。

「品德と生活」は児童の生活を基礎として、「1. 健康で、安全に生活をする」「2. 楽しく、積極的に生活をする」「3. 責任をもって、思いやりがある生活をする」「4. 頭を働かせて、創意工夫がある生活をする」の4つの課題がある。

## (2) 「品德与生活」の教科の目標

「品德与生活」の総目標は、「良好な品性と行動習慣を身につけ、探究が楽しくて、生活を熱愛する児童を育成する。」ことである。目標は「(1) 情感と態度 (2) 行動と習慣 (3) 知識と技能」の3点である。「(1) 情感と態度」では「①家族を愛し、高齢者を尊敬する。集団を愛し、故郷を愛し、祖国を愛する。②命を大事にして、自然に親しみ、科学を愛する。③自信があり、誠実で、向上するように努力する。」「(2) 行動と習慣」では「①初歩的で良好な生活と労働習慣を身につける。②基本的な行動の行為を身につけ、規則を守る。③楽しく積極的に行事に参加する。④環境を保護し、資源を大切に使う。」「(3) 知識と技能」では「①自分の生活に必要な基本的知識と労働技能を把握する。②初歩的で生活のなかの自然と社会の常識を学習する。③祖国に関連する初歩的な知識を学習する。」ことがめざされている。ここでは、「①初歩的で良好な生活と労働習慣を身につける。」「①自分の生活に必要な基本的知識と労働技能を把握する。」と知識だけではなく「習慣を身につける」ことや「技能」(労働技能と位置付けられている)も含まれていることに注目したい。

## (3) 「品德与生活」の内容標準

「品德与生活」における4つの課題のうち、「1. 健康で、安全に生活をする」では「良好な生活と労働習慣を身につける。」ことがめざされる。具体的な内容は、次の3項目である。

- ①時間どおりに仕事と休憩をして、気をつけて働く
- ②良好な飲食と個人の衛生習慣を身につける
- ③労働を熱愛して、自分自身の生活を片付ける能力を持つ

## (4) 「品德与生活」教科書での食関連内容

1, 2 学年の「品德与生活」教科書で食育に関する内容は、次のように見られる<sup>12-15)</sup>。

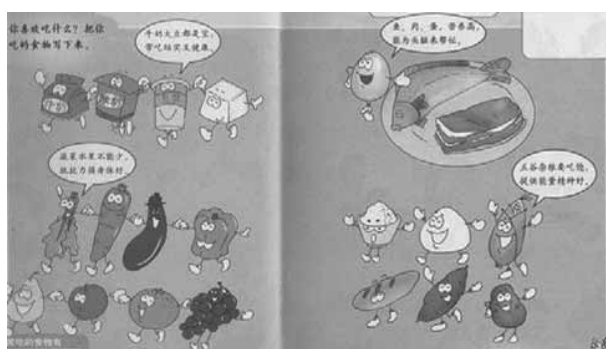


図1 出典：『品德与生活』 一年級上冊，人民教育出版社2012年，PP. 38, 39

### 図1 きちんと食べる 【食べものの選択】

「あなたは何かが好き？ あなたが好きな食べものを書いて下さい。」

- ・牛乳と大豆は大切なもの、よく食べると体が丈夫で健康になる。
- ・野菜と果物は欠くことができない、強い抵抗力とよい体に関係がある。
- ・魚、肉、卵、栄養が多い。頭によい。

・五穀、雑穀何でも食べる。エネルギーを提供してくれて、元気になる。

兎 考えて、討論して、自分は健康的に食べているのかな？  
食べものを合理的に組み合わせているのかな？

これは、食品の分類を扱っており、4つの食品群で取り上げている。1つは、乳・乳製品と大豆食品である豆乳と豆腐である。2つめのグループは、野菜・果物である。3つめは、卵、魚、肉類であり、4つめは、穀類、いも類である。日本の4つの食品群は「乳・乳製品と卵」「魚介・肉と豆・豆製品」「野菜、いも類、果物」「穀類、砂糖、油脂」<sup>16)</sup>であるので、それとも異なる分類になっている。



図2 出典：『品德与生活』 一年級上冊，人民教育出版社2012年，PP. 40, 41

### 図2 野菜と友だちになる

- ①行け！あなたたちとは友達になりたくない。陽ちゃん、こんにちは！
- ②ぼくは肉だけ食べたい！
- ③やばい、おなかがいいたい！
- ④陽ちゃん、野菜をちゃんと食べなさい。

兎 偏食、食べ過ぎはよくないよ！

よい食習慣を身につけよう

みんな覚えて：1日に3食は欠かせない。

偏食せず、食べ過ぎず、よくかんでゆっくり飲みこむと体がいい。

子 遅刻する、朝ごはんを食べない！

子 おいしい、もっと食べよう！

母 食べ過ぎないで！おなかがいいたくなるよ！

子 水を飲みたくない、飲料(清涼)を飲もう！

兎 以上の絵の中の子どもたちの食事習慣は、どこがよくないかな？ 話し合って、自分はどのような食習慣かな？ 発表して下さい。

図2では、図1の食品の選択に引き続き、野菜の役割を理解させようとしている。また、朝食抜きや食べ過ぎ、お菓子や清涼飲料水のような砂糖が多く含まれている食品の摂取を控えて、良い食習慣を身につけさせようとしている。



図3 出典：『品德与生活』 一年級上冊，人民教育出版社2012年，P.56

### 図3 楽しく正月をむかえる

兔 大勢の人と一緒に食事をする時は、どんな注意が必要かな？

男児 ぼくは、いっぱい食べたい！

女児 おばあちゃん、どうぞ！

下図 そのおかずを私の前に置いてくれればよかったのに！

P.54 から「楽しく正月をむかえる」テーマが取り上げられており、正月飾り (P.54)、大みそかの準備 (P.55) にひきつづいて、P.56 には会食のマナー (図3) が取り上げられている。

以上が1年生の上冊で取り上げられていた食育の内容である。

続いて、1年生下冊で見られた食育関連内容である。



図4 出典：『品德与生活』 一年級下冊，人民教育出版社2012年，P.12

### 図4 特別な日，特別な愛

3月8日 (女の節句)

父 おかあさんは、いつもご飯を作ってくれる。今日は…

子 自分は、…を学びたい、将来は…ができる。

兔 特別な日に、家族に特別な愛をささげて！

図4は、自分が料理をできるようになって、将来は家族に食事を作ってあげられるようになることを期待した内容になっている。ただし、日常は、母親が食事作りを担っている状況がうかがえる内容でもある。



図5 出典：『品德与生活』 一年級下冊，人民教育出版社2012年，P.36

### 図5 歯を守る

兔 歯が生え換わる時は、大切にしないといけない。どうすれば、歯を守ることができるのかな？

- ・健康な食品を選ぶ (甘いお菓子はひかえめに)
- ・歯を定期的に検査する
- ・毎朝、晩、食後に歯を磨く
- ・よい歯ブラシを選び、定期的に変える
- ・児童用歯磨き剤を選ぶ



図6 出典：『品德与生活』 一年級下冊，人民教育出版社2012年，P.38

### 図6 虫歯予防

- ・ねむいから、歯を磨かない。
- ・ビスケットはおいしいね！
- ・こわい、すぐいたいでしょう？





図7 出典：『品德与生活』 一年級下冊，人民教育出版社2012年，P.42

ニンジンをよく食べたら，目によいとおかあさんが言ったよ。

歯の健康に引き続いて，目の健康が取り上げられている。

図7は，ビタミンAを多く含むニンジンをとくさん食べることは目に良いという説明がある。栄養素の役割を知らせている。



図8 出典：『品德与生活』 一年級下冊，人民教育出版社2012年，P.50



図9 出典：『品德与生活』 一年級下冊，人民教育出版社2012年，P.51

図8と図9は，「夏に注意すべきこと」の中で取り上げられている。おいしいとアイスをたくさん食べたり，衛生によくない屋台の串ものや汚れたキュウリなどを食べたりすると，夏におなかをこわしやすいと注意を促している。

ここまでの，1年生(上冊と下冊)の「品德与生活」で取り上げられている食育関連内容である。編者は，1年生の「品德与生活」上冊で，保護者に向けて「これはわが国の新たな基礎教育課程改革

にしたがって設置した活動的な総合的な課程である。その目標は，ゲームや児童に好まれる活動を通して，児童に道徳的，科学的で生活的な基礎教育を行う。積極的な生活態度，良好な道徳品質と実際の生きる力の育成の基礎をしっかりと作る」(目次前の頁)と述べている。

表2 「品德与生活」の内容構成

1年上	目次	頁
【私は小学校に上がった】		
1, 通学かばんを背負った		2
2, 授業のベル		8
3, 新しい友だち 新しい仲間		12
4, 無事に家に帰る		18
【祖国, 愛している】		
5, 建国記念日		22
6, 祖国は心の中にある		26
【私の一日】		
7, 時計ねいちゃんと友だちになる		30
8, 私は清潔である		34
9, きちんと食べる		38
10, 自分で整理する		42
11, 元気である		46
【お正月】		
12, お正月おめでとう		50
13, 楽しく正月を迎える		54
1年下	目次	頁
【家族と友だち】		
1, 私の家族		2
2, 家族からの愛		6
3, 家族を楽しく		10
4, 私と友だち		14
【自然にはいる】		
5, 春が来た		18
6, 芽, はやく伸びて		22
7, お日さまと遊ぼう		26
8, 風が吹いている		30
【健康に毎日を過ごす】		
9, 歯が生え変わる		34
10, きらきら輝いている目		40
11, 気をつけて, 怪我しないで		44
12, 夏に注意すべきこと		48
2年上	目次	頁
【集団生活で成長する】		
1, 二年生になった		2
2, クラスにストーリーが多い		6
3, 教室をきれいにする		10
4, よい本をみんなで読もう		14

【金色の秋】	
5, 秋はどこ？	18
6, 秋の収穫	24
7, 秋の行楽をしよう	28
8, 中秋節と重陽節	32
【私たちは最高】	
9, 私も最高, あなたも最高	38
10, “鷹”になる	44
11, “楽しい鳥”になる	48
2年下	目次
【私が生活している故郷】	
1, 故郷の山と川を愛している	2
2, 故郷の物産はたくさんある	8
3, 身の回りに新しいことが多い	12
【故郷をもっと美しくする】	
4, 私たちの大地	16
5, 故郷を美しくする	22
6, 草花樹木が笑ってる	26
7, 動物たちと友だちになる	32
【楽しい少年先鋒隊員】	
8, 赤いスカーフ	36
9, 赤いスカーフを首に巻く	40
10, 楽しい六月一日	44
【私たちは発達している】	
11, 私たちは大きくなった	48
12, 夏休みを計画する	52

表2は、1年生・2年生の「品德と生活」の目次である。

2年生の「品德と生活」(上冊) PP. 24, 25, 26 は、第6課の「秋の収穫」でトウモロコシ、米、柿の収穫の様子、店頭に並べられた果物、蟹を写真で紹介している。さらに P. 27 では、トウモロコシやミカンの収穫を子どもが手伝っている様子をイラストで提示している。

図10に示したように、第8課の「中秋節と重陽節」では、「中秋節」のイラストを提示し、中秋の名月をめつつ、月餅などを食べながら一家団欒する伝統的な生活文化と食文化を紹介している (P. 32)。

2年生の「品德と生活」(下冊) では、第2課の「故郷の物産はたくさんある」で、パインナップルやマンゴーを特産品としてイラストで紹介している (P. 8)。さらに第5課の「故郷を美しくする」では、果物の皮、飲料の缶をどこに捨てたらよいかを問うことで、ゴミ処理問題を取り上げている (P. 23)。



図10 出典：『品德与生活』 二年級上冊，人民教育出版社2012年，P. 32

図10 第8課 中秋節と重陽節  
家族全員が集まって中秋節を祝う  
旧暦の8月15日は、わが国の伝統的な中秋節である。  
あなたは、中秋節の由来を知っているかな？

#### IV. 「品德と社会」について

##### (1) 「品德と社会」の教科の特徴

「品德と社会」は、小学校3学年から6学年までの高学年に対して開設した教科であり、週2時間ずつ授業はある。児童の生活を基礎として、良好な品性を身につけることを中核にして、児童の社会性の発展を促進する総合的な教科である。

##### (2) 「品德と社会」の教科の目標

「品德と社会」の教科は、「児童の良好な品性を育成し、児童の社会性発達を促進して、児童が社会を自覚し、社会に参加し、社会に適応するため、思いやり、責任感があり、良好な行動をする、個性があり良好な市民を育成する」<sup>17)</sup>ことを目標として基礎を定めている。

##### (3) 「品德と社会」の教科の内容構成

「私の健康」「私の家庭生活」「私たちの学校生活」「私たちの地域生活」「私たちの国家」「私たち共同の世界」など6方面が発展的に取り上げられる。そのうち「私の家庭生活」と「私たちの地域生活」が食育に関する内容を多く含んでいる。「私の家庭生活」と「私たちの地域生活」について教師用書では「①自分の身の回りを片付け、良好な生活習慣を身につける。家庭生活に関心を持ち、自発的に家事を分担して、適切な家庭責任感を持つ。②日常生活を通して、両親の苦勞を理解し、両親がしていた家庭内の仕事を観察し、少しずつ自分でできる家事を選んで分担して行く。」という目標を掲げている。

##### (4) 「品德と社会」教科書の単元構成

表3は、「品德と社会」教科書<sup>18)~25)</sup>の単元構成である。

表3 「品德と社会」の単元構成

3年上	
第一単元	家族、学校と地域
第二単元	学習しながら成長している
第三単元	ルールと友だちになる
第四単元	私たちの役割と責任
3年下	
第一単元	愛の光の下にいる
第二単元	みんなが楽しい
第三単元	生活に欠くことができない人々
第四単元	道を探し、道を進む
4年上	
第一単元	命を大切にする
第二単元	安全に生活する
第三単元	お金を使う学問
第四単元	あなたを気にかけて、彼を大切にする
4年下	
第一単元	各地域で各地域の人々を育てる
第二単元	生産と生活
第三単元	交通と生活
第四単元	通信と生活
5年上	
第一単元	誠実で信用を私たちに付き従わせる
第二単元	私たちの民主、生活
第三単元	祖国の山と水を愛する
第四単元	私たちは中国の子女
5年下	
第一単元	成長の楽しみと悩み
第二単元	ルーツを探る
第三単元	魅力的な中国文化
第四単元	私たちが生活している地球
6年上	
第一単元	文明に向かう
第二単元	不屈の中国人
第三単元	ぐんぐん上昇している祖国
第四単元	世界を漫遊する
6年下	
第一単元	私とあなたはいっしょにくらす
第二単元	人類がくらす家
第三単元	同じ空の下にいる
第四単元	さようなら、私の小学生生活

3年生では、身近な家庭から地域までを取り上げて、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方を学ばせようとしており、日本の生活科及び道徳と似た内容を取り上げている。

4年生では、生命の尊さと共生、安全性、消費生活を考え、地域に視野を広げ、生産・交通・通信を取り上げている。

5年生では、人間性と愛国心の向上をめざして単元が構成されている。第二単元「ルーツを探る」では、衣食住生活の今昔が取り上げられている。

6年生では、中国の経済成長を肯定的にとらえ、愛国心の向上をめざすとともに、世界へ視野を広げている。地球規模の共生と世界平和をめざす内容を取り上げており、自分の成長をふり返らせて、小学校生活のまとめとしている。

#### (5)「品德と社会」教科書での食関連内容

3～6学年の「品德と社会」教科書で食育に関する内容は、次のように見られる。



図 11 出典：『品德与社会』 三年級上冊，人民教育出版社 2012 年，P.26

図 11 は、3年上の第二単元「学習しながら成長している」の第 1 課「私はできた」のなかで、女兒は「前菜ができた」と言っている。右の男児は「習った数学で数を記録できた」と言っている。



図 12 出典：『品德与社会』 三年級上冊，人民教育出版社 2012 年，P.28

図 12 は、「自分のはじめてしたこと」で、男児が料理をして「いいにおいだなあ!」と言っている。





図13 出典：『品德与社会』 三年級上冊，人民教育出版社2012年，裏表紙裏

図13は、「飲食の安全」を注意しており、「食事前とトイレの後に手洗いし、病原菌をなくす。製造者、場所などを買う物の時はきちんと見る。微生物が口から入るのは当たり前。食物の賞味期限に注意する。あるキノコは猛毒があり、インゲンマメは生では食べられない。病気は早期発見・早期治療をしないと、小さな痛みは大きな痛みになる。」と述べ、買い食いを戒める内容になっている。

『品德与社会』 三年級下冊には、次の内容が取り上げられている。



図14 出典：『品德与社会』 三年級下冊，人民教育出版社2013年，P.8

図14 第2課 お父さんとお母さんの気持ちをわかって「かれらを理解できるかな？」

私たちと父と母と一緒に暮らしているけど、私はかれらの気持ちをよくわかっていない。父や母の気持ちをわかって。

右：おいしい！

左：私が作った料理は母が作った料理よりまずいのに、なぜ父や母はおいしいと言ったのかな？

図14と図15は、食事を作ってくれる人たちに対する理解を深め、感謝の気持ちを表すことに気づかせようとしている。



図15 出典：『品德与社会』 三年級下冊，人民教育出版社2013年，P.44

図15 第2課 おじさん、おばさん、おつかれさまです「かれらは、どのように働いているのか？」

私たちが地域で便利に楽しく生活できるのは、私たちのために働いている人なしには考えられない。かれらは毎日どのように働いているのかな？いっしょに行って、彼らの苦勞と喜びを見よう。右上：こんなに早い時間に、かれらはどこに何をしに行くのだろう？

左：こんなにたくさんの野菜を洗うのは、たいへんじゃないの？

右：いいにおいだ！

左下：こんな遅い時間にも、まだ働いているの？



図16 出典：『品德与社会』 四年級上冊，人民教育出版社2012年，P.13

図16

通常、何が良い生活習慣なのか、何が悪い生活習慣なのかはわかっているけど、いつも自分の行為をコントロールできなくて、良い生活習慣ができなくなってしまう。

女兒 私はチョコの食べ過ぎはよくないと知っているけど、食べはじめたら止まらなくなってしまう。

男兒 ぼくは食事の前とトイレの後、帰宅したときに手洗いをしなければならないと分かっているけど、いつも忘れてしまう。

図16は、4年生上冊の第一単元「命を大切にする」の第3課「体を保護する」で取り上げられた「良い生活習慣をつくる」ことについての記述である。

P.15には「小記者が行動している」という内容で衛生を取り上げている。「生活の中の悪い習慣を探そう」と呼びかけ、「どんな場所でも痰を吐くのは、みんなの健康に悪い」「野生の動物を加工し食べるのはウイルスに感染される」「自分の箸で他人に料理を取り分けるのは、病気を伝染しやすい」と示し、まとめとして「自分の家族や周りの人たちにどんな悪い習慣があるのかをみて、自分たちはそうしたらよいのだろうか?」と問いかけている。

さらに、解説欄では窓を開けて喚気する必要性と、新聞紙や包装紙で食品を包むのは、漂白剤や有害物質による危険があることを説明している。



図17 出典：『品德与社会』 四年級上冊，人民教育出版社2012年，P.25

4年生上冊の第二単元「安全に生活する」の図17では「安全な行動」で「果物の皮をむく」写真が提示されており、「手を切らないようにするには、どうすれば良いのかな?」と問いかけている。



図18 出典：『品德与社会』 四年級上冊，人民教育出版社2012年，P.38

同じく4年生の「安全に生活する」の図18では、「ふたをしたら、熱い油は空気が遮断されて、火が消えていく」との説明がある。

4年生上冊の第三単元「お金を使う学問」P.53には、「浪費と節約」を取り上げて「お金を使うのは大いなる学問です。買物は必要

量をこえると浪費だが、逆にお金を節約するために買うべきものを買わないのは節約と言えない。次の消費方法について、あなたの考えを發表しよう。」と指示している。図19は、「この野菜はとても安かったね。」と言っているが、いっぱい買いすぎて冷蔵庫に入りきれなくなっている様子を描いている。



図19 出典：『品德与社会』 四年級上冊，人民教育出版社2012年，P.53



図20 出典：『品德与社会』 四年級上冊，人民教育出版社2012年，P.61

続いて、第4課「賢い消費者になる」のP.61ではポテトチップスが例示されており、「合格していない食品を食べたら、私たちの健康に悪影響を及ぼす。商品を買う時、何を見なければならぬのかな?」と問いかけている。そこで女兒は、「食用の方法を見る。含んでいる成分を見る。生産日と賞味期限を見る。製造者を見る。また…を見る。」と言っている。男児は「これは不合格の包装であり、どんな説明がないかな? なぜ、その説明が必要なのかを發表しよう。」と指示している。



図21 出典：『品德与社会』 四年級下冊，人民教育出版社2013年，P.22

図21は、4年生下冊の第一単元「各地域で各地域の人々を育てる」の第3課「郷土の感情」「郷土のおいしい料理」を紹介し、「各地域にそれぞれ飲食の習慣がある。あなたの郷土の人たちは、何が好きかな？」と問いかけている。写真は、四川省の人は辛くて酸っぱい春雨料理が好き。南京は塩水鴨（アヒル料理）が有名だ。これは、雲南省のビーフン料理。



図22 出典：『品德与社会』 四年級下冊，人民教育出版社2013年，P.24

図22，P.24では「郷土料理を学ぼう」というテーマで「郷土の軽食と有名な料理と一緒に作ろう」と呼びかけている。

「何の料理をするのかな？」「どんな原材料が必要かな？」

私たちが作った郷土料理の名前を書いておこう。「料理名」「原材料」「特色」の記入欄がある。



図23 出典：『品德与社会』 五年級上冊，人民教育出版社2012年，P.82

図23，5年生上冊の第四単元「私たちは中国の子女」では、「民族の風俗と礼節」（P.82）のテーマで「それぞれの民族は、それぞれ風俗習慣と礼節がある。これは、民族間の文化の差を表す。」として「寧夏回族自治区では“八宝茶”で客をもてなす。その茶の原材料はとても豊かである。」と紹介している。コラムでは「蓋が

ある茶具は埃の防止，冷えるのを防ぐ，茶葉がのどに詰まるのを防ぐ，3つの長所がある。お茶は各地域により異なる。ジャスミン，氷砂糖，赤ナツメ，ゴマ，竜眼，クコ，干しブドウ，クルミなどにお湯を注ぐ。これが“八宝茶”といわれるものである。回族のなかでは，こういう話が言われている。“お金がなくても，八宝茶を飲む”」と解説している。

5年生下冊の第二単元「ルーツを探る」では、「中国の食文化」の紹介（P.31）に続いて「中西飲食比較」（図24）を取り上げて「違う民族と国家は，生活環境と歴史文化が違うので，違う食文化になる。比べて，それぞれどんな特徴があるのかを見ましょう」と中国と西欧の飲食文化を比較している。「西欧人は油と肉類を好み，中国人は野菜炒めが好き，そして肉と野菜をバランスよく組み合わせる。彼らが私たちと違うのは，みんなが一つの皿からおかずをとるのではなく，一人用盛り付けにすることである。違う飲食習慣と方法は，どんな長所と短所がありますか？」と述べている。



図24 出典：『品德与社会』 五年級下冊，人民教育出版社2013年，P.33

6年生上冊では，第四単元「世界を漫遊する」でシンガポール，インド，モンゴル，ネパール，インドネシア，日本が取り上げられている。P.87では日本の木造家屋，和服とともに図25のように日本の食文化として，刺身が紹介されている。



図25 出典：『品德与社会』 六年級上冊，人民教育出版社2012年，P.87

日本人は刺身が好き，魚料理にはいろいろ調理方法があるが，どんな調理方法も好まれている。そのなかで刺身は日本特有の生のまま食べる料理である。刺身に使われる魚は必ず新鮮で，清潔で汚染されていない。

「日本の他の文化風俗には何がある？わが国と似ているところはないかな？」と問いかけて終わっている。

6年生下冊には，食育に関する内容は見られなかった。6年生では，世界に視野は広がっていているが，自分で食生活を営む方向には向かっていないことが分かった。この点が，日本の家庭科との大きな相違点だと考えられる。



## V. おわりに

本研究の目的は、中国の小学校教育における「品德と生活」「品德と社会」の教科書を取り上げて、食育内容の分析を行うことである。

中国の「品德と生活」は、1学年と2学年で週2時間ずつ授業がある。「品德と社会」は、小学校3学年から6学年までの高学年に対して開設した教科であり、やはり週2時間ずつ授業がある。なお、中国の小学校の授業時間は、40分が標準である。

1年生の「品德と生活」教科書では、バランスのよい食品摂取の必要性や歯と目の健康に関する食育関連内容が取り上げられていた。さらに、夏に注意すべきこととして、衛生面を取り上げていた。2年生の「品德と生活」教科書では、秋の収穫物として柿や蟹などが紹介され、中秋節で月餅を食べながら家族がそろって団欒している様子が紹介されていた。自分の生活に必要な食品については、1年生の内容のみであり、この学習だけで食生活を営むことは困難であると考えられる。

3年生の「品德と社会」教科書では、料理することへの働きかけがあり、食品の安全性や良い生活習慣の育成、食事を作ってくれる人への感謝の気持ちに関する記述がみられた。4年生の「品德と社会」教科書では、消費生活面が取り上げられており、適量の購入や品質表示を見ることが推奨されていた。5年生の「品德と社会」教科書では、回族の食文化、中国と西欧の食文化の比較が取り上げられていた。6年生の「品德と社会」教科書では、日本の刺身が食文化として紹介されていた。

このように「品德と生活」「品德と社会」の教科書では、食育内容がいくつも取り上げられていたが、食生活や食文化に関する知識理解が中心であった。日本の小学5、6学年の家庭科教科書では、調理器具名や調理計画、調理方法、調理理論、食事計画までを取りあげて、食生活の自立を促していく内容で構成されている<sup>26,27)</sup>が、そのような内容ではなかった。また、家庭科学習には生活スキルの習得を伴うが、その学習には実習室が不可欠である。しかし、中国の小学校の施設は未整備な状態にある。したがって、現状では知識の習得が中心課題にならざるを得ない状況にあるが、中国においても食育に取り組み始めている様子がうかがえた。これは、中国において小学校教育段階での食育の必要性が認識されるようになってきたことを示しており、これから発展を期待したい。

本研究は、平成25年度科学研究費助成事業(課題番号:25560021)「中国の学校教育における食育カリキュラム開発の支援」(代表菊地るみ子)の助成金にもとづいて劉智萍が来日し、高知大学滞在中に、共同研究として取り組んだものである。

翻訳には高知大学大学院総合人間自然科学研究科教育学専攻院生の李艶嬌さんの協力を得た。記して謝意を表する。

## 引用文献

- 劉智萍・柴英里・菊地るみ子, 中国の学校教育における食育カリキュラム開発(1)―中国の子どもをめぐる食生活の現状と課題―, 高知大学学術研究報告, 62, 2013
- 劉智萍・柴英里・菊地るみ子, 中国の学校教育における食育カリキュラム開発(2)―中国の幼稚園用『健康習慣』における食育内容の分析―, 高知大学学術研究報告, 62, 2013
- 中华人民共和国教育部 (<http://www.moe.gov.cn/>)
- 日本家庭教育学会編, 生きる力をそなえた子と私たち―それは家庭教育から, 学文社, PP.132-137, 2013
- 4) に同じ, P.135
- 山田美香, 中国における道德教育と社会科との合科, 名古屋市立大学大学院人間文化研究科 人間文化研究, 17, P.99-110, 2012
- 賽漢花, 中国初等教科「品德と社会」に見る公民性教育(1)―5年生単元「私たちの民主生活」の分析を中心に―, 滋賀大学大学院教育学研究科論文集, 14, P.84, 2011
- 7) に同じ, P.90
- 文部科学省, 小学校学習指導要領 平成20年3月告示, 東京書籍, P.88, 2008
- 中华人民共和国教育部官方网站 全日制义务教育, 《品德与生活课程标准》《品德与社会课程标准》2011年版 ([http://www.moe.edu.cn/publicfiles/business/htmlfiles/moe/moe\\_711/201201/129268.html](http://www.moe.edu.cn/publicfiles/business/htmlfiles/moe/moe_711/201201/129268.html))
- 課程教材研究所・総合文科課程教材研究開発中心編著, 品德与生活 一年級上冊, 人民教育出版社, 全58頁, 2012
- 課程教材研究所・総合文科課程教材研究開発中心編著, 品德与生活 一年級下冊, 人民教育出版社, 全51頁, 2012
- 課程教材研究所・総合文科課程教材研究開発中心編著, 品德与生活 二年級上冊, 人民教育出版社, 全50頁, 2012
- 課程教材研究所・総合文科課程教材研究開発中心編著, 品德与生活 二年級下冊, 人民教育出版社, 全55頁, 2013
- 香川芳子ほか, 高等学校家庭基礎 とともに生きる・未来をつくる, 第一学習社, P.86, 2013
- 中华人民共和国教育部制定「品德与社会」课程标准(2011年版) 北京师范大学出版 P.8
- 課程教材研究所・総合文科課程教材研究開発中心編著, 品德与生活 三年級上冊, 人民教育出版社, 全71頁, 2012
- 課程教材研究所・総合文科課程教材研究開発中心編著, 品德与生活 三年級下冊, 人民教育出版社, 全76頁, 2013
- 課程教材研究所・総合文科課程教材研究開発中心編著, 品德与生活四年級上冊, 人民教育出版社, 全89頁, 2012
- 課程教材研究所・総合文科課程教材研究開発中心編著, 品德与生活 四年級下冊, 人民教育出版社, 全91頁, 2013
- 課程教材研究所・総合文科課程教材研究開発中心編著, 品德与生活五年級上冊, 人民教育出版社, 全98頁, 2012
- 課程教材研究所・総合文科課程教材研究開発中心編著, 品德与生活 五年級下冊, 人民教育出版社, 全112頁, 2013
- 課程教材研究所・総合文科課程教材研究開発中心編著, 品德与生活六年級上冊, 人民教育出版社, 全110頁, 2012

- 25) 課程教材研究所・総合文科課程教材研究開発中心編著, 品德与生活 六年級下冊, 人民教育出版社, 全 72 頁, 2013
- 26) 櫻井純子ほか, 小学校わたしたちの家庭科 5・6, 開隆堂, 全 109 頁, 2011
- 27) 渡邊彩子ほか, 新しい家庭 5・6, 東京書籍, 全 113 頁, 2011

参考文献

- |   |   |
|---|---|
| ・課程教材研究所・総合文科課程教材研究開発中心編著, 品德与社会四年級上冊 教师教学用书, 人民教育出版社, 2012 | ・課程教材研究所・総合文科課程教材研究開発中心編著, 品德与社会五年級上冊 教师教学用书, 人民教育出版社, 2012 |
| ・課程教材研究所・総合文科課程教材研究開発中心編著, 品德与社会四年級下冊 教师教学用书, 人民教育出版社, 2012 | ・課程教材研究所・総合文科課程教材研究開発中心編著, 品德与社会六年級上冊 教师教学用书, 人民教育出版社, 2012 |